

財務戦略と資本政策

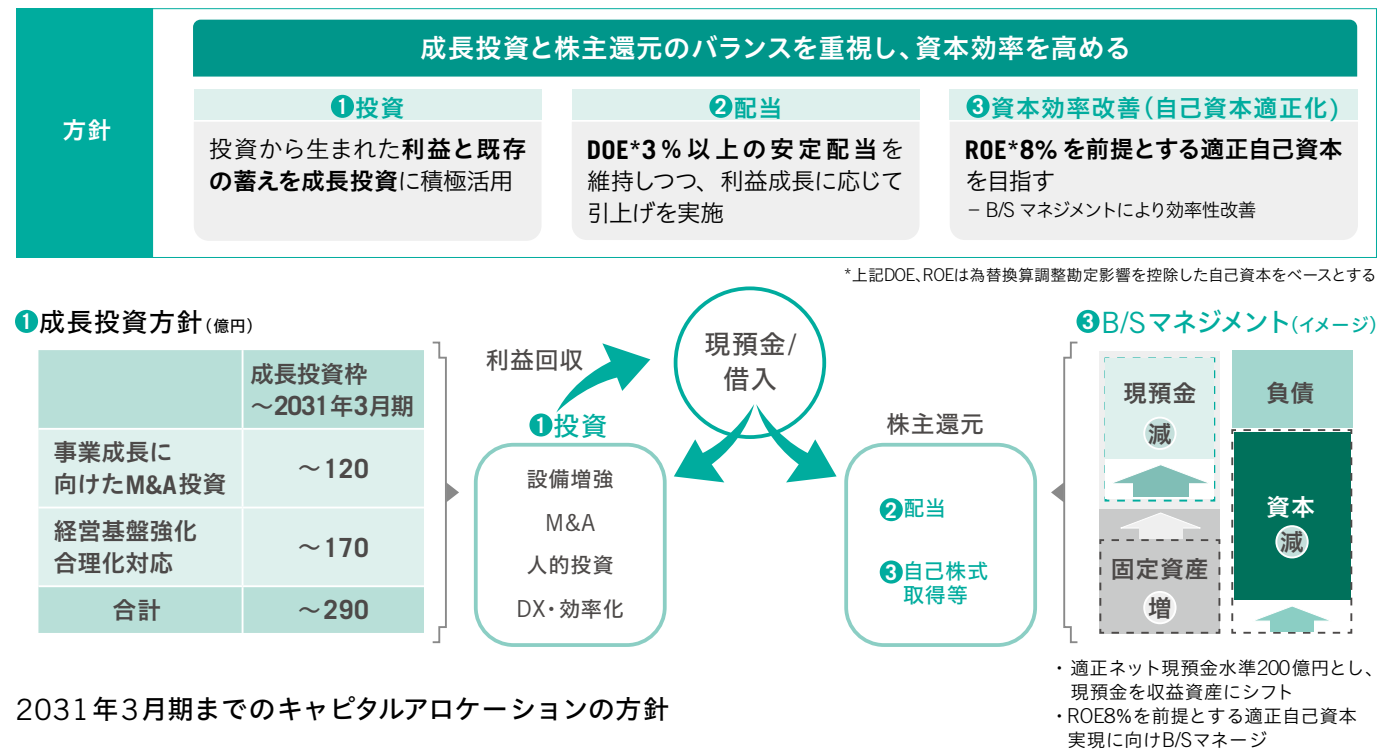
AIDA Growth 30では、持続的な成長と企業価値向上の実現に向け、事業戦略と連動した財務戦略を推進します。市場環境が大きく変化するなか、グローバル市場における競争力強化と事業ポートフォリオ改革を支える成長投資を積極的に実行するとともに、投資規律と資本効率を重視した経営を徹底していきます。

創出したキャッシュは、プレス事業、FA事業、サービス事業、新たな付加価値創出領域への投資に加え、人的資本やDX・AI分野への投資に重点的に配分します。一方で、株主の皆さまへの利益還元も重要な経営課題と位置づけており、成長投資と適切な株主還元を実現するバランスのとれたキャピタルアロケーションを行います。

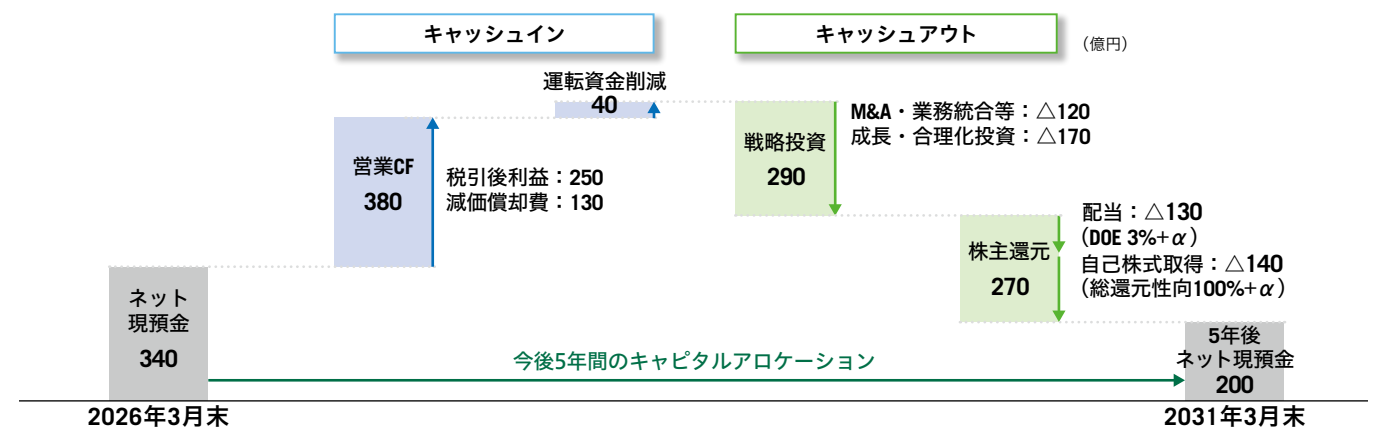
株主還元については、DOE(株主資本配当率)3%以上を目指し安定配当を維持します。また、資本効率向上に向けてROE8%以上を当面の目標とし、目標ROEを前提とした適正な自己資本水準を意識したバランスシートマネジメントを進めます。さらに、ネット現預金の適正水準を200億円と定め、超過資金については成長投資や株主還元に振り向けていきます。

資本政策の実効性については、株主資本コスト、ROE、ROIC、EBITDA率などの資本収益性指標に加え、PBR、PER、株価などの市場評価指標を総合的にモニタリングしながら検証します。

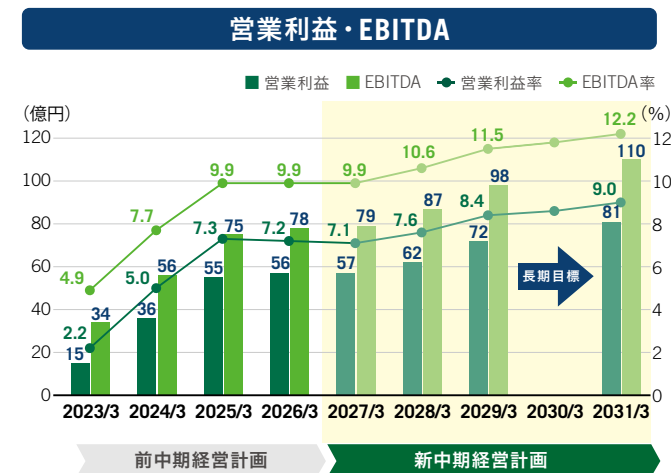
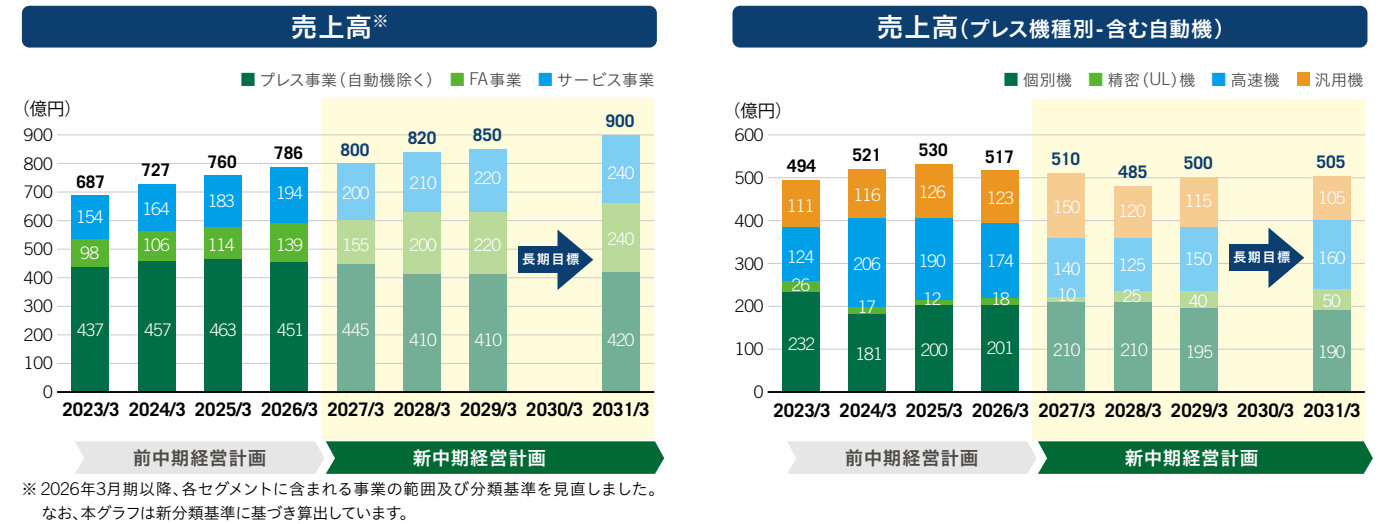
今後も、資本コストを意識した経営を推進し、成長投資、資本効率向上、株主還元の好循環を実現することで、中長期的な企業価値向上に取り組んでいきます。



2031年3月期までのキャピタルアロケーションの方針



2031年3月期(2030年度) KPI



FA事業 **サービス事業**

Ⅲ 成長分野として経営資源投下

プレス事業

Ⅲ 素材変化に対応、コア技術を維持し市場に貢献

TOPICS

「AIDA Growth 30」戦略投資の実施 シームレスなグローバル拠点網のさらなる拡充

中期経営計画「AIDA Growth 30」の成長戦略の一環として、北米及びインドにおける生産・サービス体制の強化を進めています。北米では、買収した自動機メーカー2社の生産拠点を統合し、プレス機械から周辺装置までを一括提供できる生産ライン一貫供給体制を構築することで、地産地消モデルのさらなる深化を図ります。また、インドではサービス拠点を拡充し、提案・保守・近代化対応を強化することで、成長拡大が見込まれる市場における顧客サポート力を高めていきます。これらの取り組みにより、グローバル競争力の向上に繋げて持続的な成長を続けていきます。

